

曾於市は縁起が良かげな!

そお〜ら、行たっみろかい!



© SOO\_CITY

## 幸運の財大吉神社巡り実行委員会

[お問い合わせ]

曾於市観光特産開発センター

〒899-8606 鹿児島県曾於市末吉町深川11050番地1

☎0986-28-0111

<http://www.sookai.net/>



そおし  
鹿児島県曾於市



# 幸運の たから だい きち 財大吉神社巡り



## 「幸運の財大吉(たからだいきち)」とは

曾於市は、平成17年に財部町・大隅町・末吉町が合併して誕生しました。

旧3町の一文字ずつを取ると、「財大吉(たからだいきち)」という非常に縁起の良い言葉になります。

この「財」は財産・宝・財貨を意味し、「大吉」は縁起や運勢がこの上なく良いこと、非常にめでたいことを意味しています。

このことから、曾於市には素晴らしい幸運が潜んでおり、曾於市の「幸運の財大吉神社」を巡ると素晴らしい幸運に恵まれると言われています。

そお～、最高の幸運をつかむため、今すぐ曾於市の「幸運の財大吉神社」巡りに挑戦しましょう。

## 幸運の財大吉神社巡り 神社一覧

|       |          |    |
|-------|----------|----|
| 財部エリア | ① 日光神社   | 8  |
|       | ② 澤田神社   | 9  |
|       | ③ 速玉神社   | 10 |
|       | ④ 金峯神社   | 11 |
|       | ⑤ 熊野神社   | 12 |
|       | ⑥ 南方神社   | 13 |
| 大隅エリア | ⑦ 岩川八幡神社 | 16 |
|       | ⑧ 投谷八幡宮  | 17 |
|       | ⑨ 太田神社   | 18 |
|       | ⑩ 蹲踞神社   | 19 |
|       | ⑪ 笠祇神社   | 20 |
|       | ⑫ 日天子神社  | 21 |
| 末吉エリア | ⑬ 住吉神社   | 24 |
|       | ⑭ 檜神社    | 25 |
|       | ⑮ 諏訪神社   | 26 |
|       | ⑯ 熊野神社   | 27 |
|       | ⑰ 世貫神社   | 28 |
|       | ⑱ 若一王子神社 | 29 |
|       | ⑲ 早馬神社   | 30 |
|       | ⑳ 天照大神社  | 31 |
|       | ㉑ 五位神社   | 32 |
|       | ㉒ 山王神社   | 33 |

「幸運の財大吉神社」の  
 鈴を鳴らそお〜



# 神社における参拝の作法

初詣や神頼みなどをする時、神様に礼節を尽くした方が良いのではないのでしょうか。作法にのっとった頼み方をされると、神様も気持ち良く願い事を叶えて下さることでしょう。

**1** まず、鳥居をくぐる前に衣服を整え、軽く会釈をしてから境内に入ります。できれば、神社の一番外側にある「一の鳥居」から順に鳥居をくぐって、参道へと入りましょう。鳥居の向こう側は神の空間ですので、参拝はここから始まります。



**2** 参道は中央を避け、ゆっくりと歩きます。中央は神様が通るところですので、左右どちらかの端を歩きます。また、ゆったりとした気持ちになって拝礼するための心の準備をします。

**3** 手水舎（ちょうずや・てみずや）で手水を取り、心身を清めてからご神前に進みます。ここで俗界の穢れを落とします。



① 右手で柄杓を持って水を汲み、左手にかけます。  
 ② 柄杓を左手に持ち替え、右手にかけます。



③ 再び柄杓を右手に持ち替え、左の掌（てのひら）に水を受けて口をすすぎます。柄杓に直接口をつけるのは厳禁です



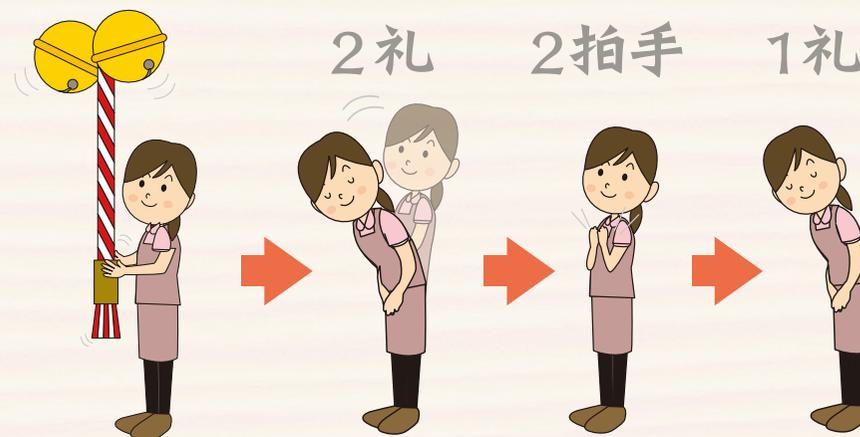
④ もう一度、左手に水をかけます。  
 ⑤ 最後に、両手で柄杓を立てて柄杓の柄に水を流します。



⑥ 柄杓置き場に柄杓を伏せて戻します。

**4** 軽く会釈をしてから鈴を鳴らし、賽銭箱に賽銭を入れて「2礼2拍手1礼（二拝二拍手一拝）」の作法で拝礼し、軽く会釈をして退きます。

- ① 神様に自分が来たことを知らせるため、鈴は力強く鳴らします。
- ② 神前に向かって、2回深くおじぎをします。背中を平らにして、腰を90度折ります。
- ③ 両手をのびして手のひらを合わせてから、右手を少し後ろへ下げます。肩幅ほどに両手を開いて、拍手を2回します。再び、両手を揃い合わせ、祈念をこめてから手を下ろします。
- ④ 再び深くおじぎをします。



## 神社の豆知識

幸運の財大古神社巡りでそお快!



### 卍 神社の始まり

神様をお祀りする所は古代からありました。しかし、最初から現在のよ  
うな社殿があったわけではありません。古代、山・大木・巨岩などは、神  
様が降りられる場所、鎮座される場所と考えられていました。そして、そ  
れらの周辺は神聖なる場所とされました。やがて、そこには臨時の祭場  
を設けるようになり、さらに風雨をしのごためといった理由などから、建  
物が設けられていきました。そして、中国の寺院建築などの影響も受け  
ながら、今日のような神社の形態になったのだそうです。

### 卍 神社

神社とは、日本の民間信仰(神道)における神様  
を祀っている施設のことです。一般に、「お社(やし  
る)」、「お宮」などとも呼ばれています。この場合、建  
物だけでなく境内地も含まれます。本来はそこに納  
められた神様を祀る場所であって、礼拝や布教をす  
るための場所ではありません。



### 卍 鳥居

鳥居は神社を表示し、また神社の神聖さを象徴する建造  
物です。鳥居は神社の内と外を分ける境に立てられ、鳥居の  
内は神様がお鎮(しず)まりになる御神域として尊ばれます。  
また、特定の神殿(本殿)を持たず、山など自然物を御神体と  
してお祀りしている神社の中には、その前に鳥居が立てられ、  
神様の御存在を現すものとして重視されています。



鳥居の起源については、天照大御神(あまてらすおおみかみ)が天の岩屋にお隠れに  
なった際に、八百万の神々が鶏を鳴かせましたが、このとき鶏が止まった木を鳥居の起源  
であるとする説や、外国からの渡來說などがあります。

鳥居の形態は、それぞれの神社により異なります。代表的なものとしては、鳥居上部の  
横柱が一直線になっている神明(しんめい)鳥居《例:靖国神社》と、この横柱の両端が上  
向きに反っている明神(みょうじん)鳥居《例:宇佐神宮》があります。このほか、形態では明  
神鳥居の横柱上部に合掌形の破風(はふ)のついた山王(さんおう)鳥居《例:厳島神社》や、  
また朱塗りの稲荷鳥居など特徴的なものがあります。

### 卍 神宮大麻(じんぐうたいま)

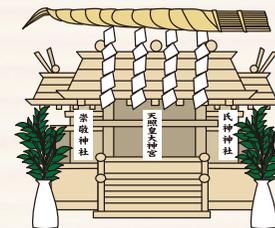
神宮大麻とは、祓い具である祓い串の御真(ぎょしん)を包んだ伊勢神宮の神札(おふだ)です。又は単に  
大麻(おおぬさ、たいま)、お札(おふだ)とも言います。

天照皇大神宮

### 卍 お札の祀り方

神棚にはお札を中に入れる扉が1つのもの・3つのもの・5つ以上のもの  
と、いくつか種類がありますが、ここでは3つ扉のもので紹介します。  
神棚にお祀りするお札は、大きく分けて3種類あり、次のように祀ります。

- ①天照皇大神宮(アマテラス様のお札、お伊勢様のお札と言われます)  
神棚の中央の扉にお祀りします。
- ②氏神様(産土神)のような近くの神様のお札  
神棚に向かって右側の扉にお祀りします。
- ③崇敬神社(地元ではないが、常々崇敬している神社)で、遠くの神様のお札  
神棚に向かって左側の扉にお祀りします。  
また、旅先に立ち寄ってお札を受けた場合もここにお祀りします。



### 卍 玉串(たまぐし)

玉串とは、神道の神事において神に捧げる榊(さかき)の  
葉のことで、白い和紙の紙垂(しで)がついている場合もあり  
ます。神に玉ぐしを捧げることを、玉ぐし奉奠(たまぐしほう  
てん)と言います。



# 財部MAP

- ①日光神社    ②澤田神社    ③速玉神社
- ④金峯神社    ⑤熊野神社    ⑥南方神社



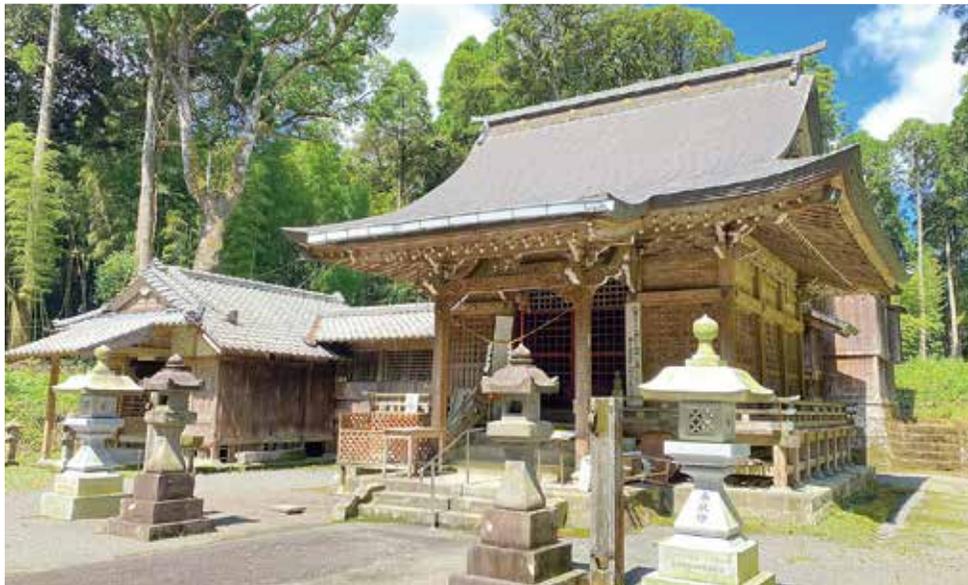
にっこう

# 1 日光神社

[所在地] 財部町北俣 9260

[創建年] 和銅3年 (710)

財部町  
MAP  
C-4



御祭神

あまてらすおおみかみ つぎさかきいづのみたまあまさかるむかつひめのみこと  
天照大神 (檀賢木巖之御魂天疎向津毘売命)、他多数

御利益

厄除け、家内安全、交通安全、商売繁盛、学業成就、  
招福、経済振興、五穀豊穡、工事安全

お祭り

大祭 (4月13日) 新嘗祭 (11月25日)

## 卍 由来等

財部三社(日光神社・沢田神社・天子宫)の一つ。和銅3年、鴨頼長がこの地に下向し、創建した。昔は流鏝馬や鉤木引(かぎひき)も盛大に行われていた。なお当時、鉤木引は毎年2月13日に行われ、農夫が南北に分かれ、神社の山から股のある木を切って鉤を作り、北俣の農夫が伐り出したのを男鉤、南俣の農夫が伐り出したのを女鉤と言ひ、この両鉤を合わせて多数で引いて勝負を争った。北俣、南俣の由来は、この鉤木引から来たと言う。

また、大和政権の時代に、太陽信仰『財日奉部(たからのひまつりべ)』という神事をこの地で行っていたと言ひ、これが財部町の語源とも言われる。

参道沿いにはスギ、クスノキ、イチイガシ、モミ等の大木もある。

さわだ

# 2 沢田神社

[所在地] 財部町下財部 2890

[創建年] 不詳

財部町  
MAP  
D-3



御祭神

たらしなひこのみこと ちゆうあいてんのう おきながたらしひめのみこと じんぐうこうごう  
帯中日子命 (仲哀天皇)、息長帯比売命 (神功皇后)、  
あめのたぎからおのみこと  
天手力男命

御利益

開運招福、厄除け、病気治癒、必勝祈願、入試合格、  
安産・子育て、家内安全、技芸上達、スポーツ向上、  
歯の神、五穀豊穡

## 卍 由来等

財部三社の一つ。一説には宇佐八幡を勧請したと言われている。沢田神社は、霧島山四門のうち南門とされる。7つの面(市指定文化財)が残っており、現在、財部郷土館にて展示。このうち宝徳3年(1451)の面は、島津9代忠国が沢田神社に奉納したものとされる。慶長4年(1599)の庄内の乱の際には、島津義久・忠恒(家久)が立願し、同6年に神領20石を寄附したといい、島津家からも大切にされた神社である。社前の池は、霧島敷地御手洗48池の一つで、火難水難を除かしむると言われている。

はやたま

# 3 速玉神社

[所在地] 財部町南俣 3200

[創建年] 不詳

財部町  
MAP  
D-5



**御祭神** はやたまのおのみこと  
速玉男命

**御利益** 健康・長寿の神、厄除け、縁結びの神、  
家内安全、商売繁盛、五穀豊穡

**お祭り** 祈年祭・種播 (3月下旬の日曜日)

## 卍 由来等

七村にあり。速玉男命(はやたまのおのみこと)とは、伊邪那岐命が黄泉国(よもつくに)の伊邪那美命を連れ戻しに行った際、見ないで欲しいと言われたその姿を見てしまい、離縁することとなった。その約束を固めるために吐いた唾から生まれた神である。現在、当社には文政2年(1819)年の棟札等が残る。なお、田平にある速玉神社は、明治期に七村の速玉神社へ御神体を移したものの、その後、御神体が落ちたり、田平の馬が病気で死んだり、人が病気になる等、災いが多いことから、御神体が田平の方へ帰りがっているのではないかとということとなり、すぐ田平の方へ戻し現在に至っている。

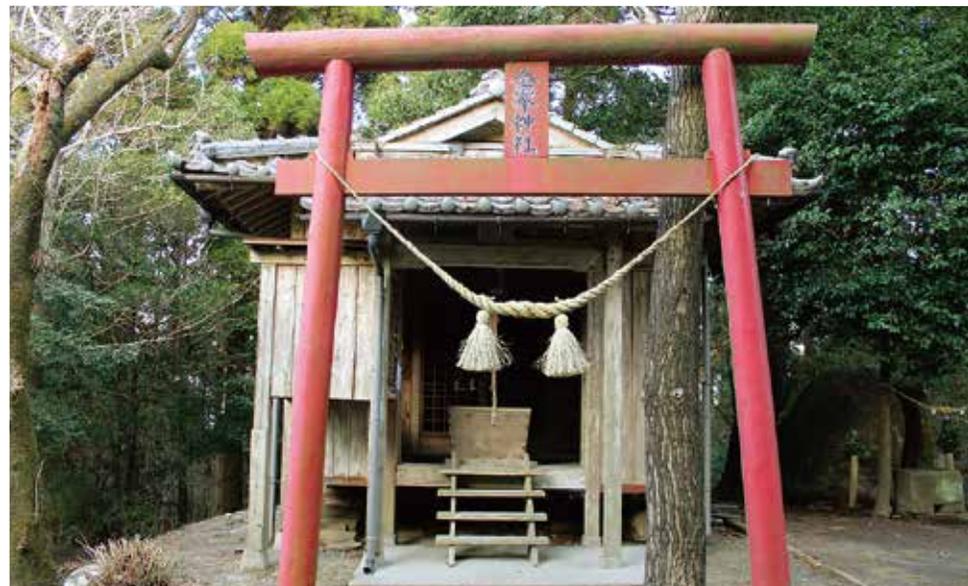
かなみね

# 4 金峯神社

[所在地] 財部町南俣 2674-2

[創建年] 不詳

財部町  
MAP  
D-5



**御祭神** かなやまひこのかみ かなやまひめのかみ  
金山毘古神、金山毘売神

**御利益** 包丁の神、鉋山、鍛冶、鋳物業守護、金運隆昌、災難除け

## 卍 由来等

両御祭神は、伊邪那美命が火の神ヒノカガビコ(別名:ヒノカグツチ)をお生みになり、火傷をした痛みの中で吐いたものから生まれた神である。

金峯神社敷地内にある大岩は、蛇王権現と言い、大蛇の霊が祭ってある。この大岩を自分の年令の数だけなでると、家内安全、無病息災につながると言われている。江戸時代、七村の帝釈池に大蛇が住んでいた。大蛇は池の主として恐れられ、年ごとに村の娘を一人ずつ生贄にしていた。このことを聞いた仏性院の和尚は、大蛇を退治するため、呪文を唱え、印を結んだ。すると池から頭に七尺の角をもった大蛇が姿を現した。大蛇は池の中から躍り上がり、高之峯へ飛び立ち、頂上にある大石を尻尾で叩き割り、その石の割れ目に姿を消したと言う。

# くまの 5 熊野神社

[所在地] 財部町北俣 2889-6  
[創建年] 不詳(室町時代か)

財部町  
MAP  
D-3



**御祭神** いざなぎのみこと いざなみのみこと  
伊邪那岐命、伊邪那美命

**御利益** 厄除け、家内安全、縁結び、武運長久、商売繁盛、  
交通安全、所願成就、畜産振興、国家安泰

**お祭り** 祈年祭・種播(3月下旬)

## 卍由来等

最初、金丸にあり、その後、浦興禅寺に移り、昭和3年3月現地へ移転した。境内には馬頭観音を祀る社と田の神様がある。

室町時代後期、財部の金丸にいた快成和尚が、紀州熊野から熊野権現を勧請したという。快成は紀州根来寺出身の僧で、正寿寺寿福坊に入り、庄内山伏の総職を務めていた。北郷忠相の財部城攻略に殊勲を挙げ、莫大な恩賞を受けたという。

# なんぼう 6 南方神社

[所在地] 財部町南俣 5293-3  
[創建年] 不詳

財部町  
MAP  
B-5



**御祭神** □□□□□□□□□□のみこと  
御穂須々美命

**御利益** 五穀豊穰、畜産振興、学業成就、交通安全、  
健康長寿、厄除開運

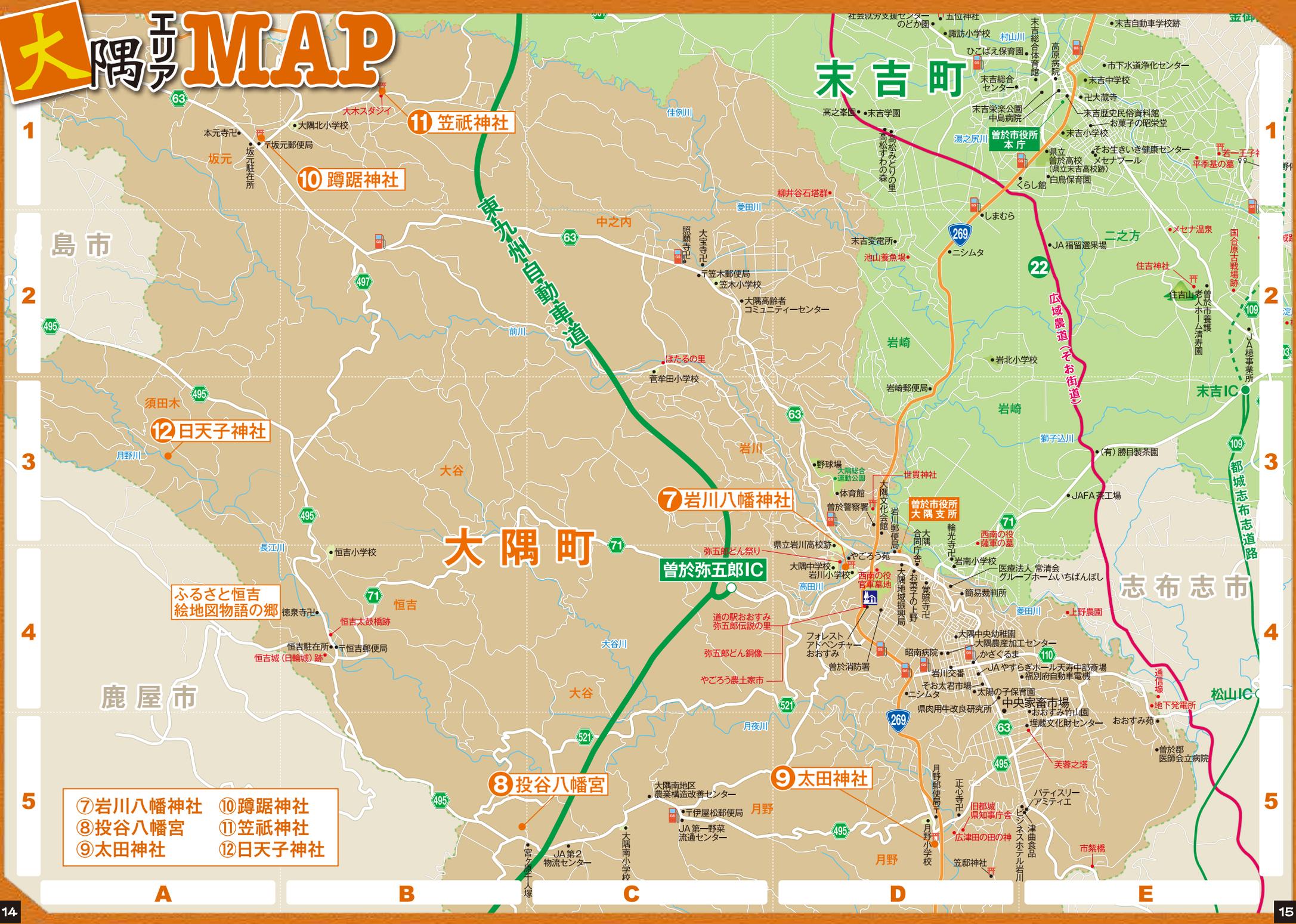
**お祭り** 春祭(5/15)・新嘗祭(11/27)

## 卍由来等

元々は金丸にあったが、今別府の諏訪どんに移った。その後、現在地に移転した。大正時代には、須賀の大山祇神社のところへ宿借りをしていたこともあったが、再び現在地に戻ってきた。大正末期頃までは、片蓋集落から狂言をハヶ代集落からは座頭踊りを披露し、賑わっていた。平成28年12月、社殿を新築した。

なお、神社の裏は、石仏神社と呼ばれ、多くの馬頭観音が祀られている。昔、畜産品評会では、ここに参詣してから市場に出向いたという。

# 大隅MAP



- |          |         |
|----------|---------|
| ⑦ 岩川八幡神社 | ⑩ 蹲踞神社  |
| ⑧ 投谷八幡宮  | ⑪ 笠祇神社  |
| ⑨ 太田神社   | ⑫ 日天子神社 |

いわがわはちまん

# 7 岩川八幡神社

[所在地] 大隅町岩川5745  
[創建年] 万寿2年(1025)

大隅町  
MAP  
D-4



## 御祭神

おうじんてんのう じんぐうこうごう ちゆうあいてんのう たまよりひめのみこと  
应神天皇、神功皇后、仲哀天皇、玉依姫命、  
たけのうちすすねのみこと  
武内宿禰命

## 御利益

安産子育て、学業成就、五穀豊穰、畜産振興、交通安全、  
健康長寿、厄除開運、武神・軍神、国家安泰

## お祭り

弥五郎どん祭り(11月3日)  
この日は浜くだり(御神幸)のほか、弥五郎太鼓の奉納、  
武道大会、市内パレードもある。

## 由来等

万寿2年、山城国石清水八幡宮より勧請。当時は、中之内川崎(元八幡)に鎮座していたが、祭祀不便のため大正3年(1914)に現地(岩川小学校隣)へ移転した。当社では、鹿児島県指定無形民俗文化財に指定されており、かつ県下三大祭りとも称される弥五郎どん祭りが盛大に行われており、今に伝わる。寛政7年(1795)刊行の『慶藩(げいはん)名勝考』には『此祭に、10月5日濱下の時、大竹籠を編て大人の立像を作り、大人弥五郎と称す…』とあり、少なくとも江戸時代には実施されていたことが分かる。

なげたに

# 8 投谷八幡宮

[所在地] 大隅町大谷5536  
[創建年] 和銅元年(708)

大隅町  
MAP  
B-5



## 御祭神

じんぐうこうごう おうじんてんのう にんとくてんのう  
神功皇后、应神天皇、仁徳天皇

## 御利益

縁結び、安産・子育て、夫婦和合、航海安全、農業・畜産振興、  
工業・商業振興、政治・経済振興、学問の神

## お祭り

3月 祈年祭 鉤引き・御田植え祭の神事  
7月 夏越祭(なごしまつり) 茅輪くぐりの神事(7月最後の日曜日)  
10月 豊年祭(ほぜまつり) 浜殿下りの神事(10月15日に近い日曜日)

## 由来等

投谷八幡宮は大谷宮ヶ原に鎮座し、大隅正八幡宮(鹿児島神宮)の別宮である。神領の四方境目に立つ神社であり、東の境に位置している。当宮は、鳥居から下へ200m程下った所にあり、いわゆる下り宮の形式で非常に珍しい神社と言える。本殿・末社四所宮・末社地主社は県指定文化財。元々、肝付氏の崇高厚く、永禄元年(1558)3月の宮ヶ原の戦いの時、肝付軍に敗れた北郷軍は社殿へ逃れようとしたが、熊蜂に中への進入を拒まれたという話が伝わる。島津氏の時代にも手厚く遇されており、慶長7年(1602)4月の島津龍伯(義久)・忠恒らによる懐紙・短冊や、文化5年(1808)の島津齊宣の短冊が残っており、これらは市指定文化財に指定されている。当宮の棟札・妻板・懐紙・短冊は大隅郷土館にて展示している。また、神社内には石體(しやくたい)神社や大銀杏もある。投谷八幡宮は旧恒吉村の郷社であったことから、オリジナル御守「恒に吉(つねにきち)」もある。

## 9 太田神社

[所在地] 大隅町月野6876-1

[創建年] 不詳(鎌倉時代か)

大隅町  
MAP  
D-5御祭神 おおたたねこのみこと  
太田田根古命

御利益 病気平癒、五穀豊穰、生活守護、厄除け

お祭り 春の大祭(4月3日) グラウンドゴルフも行われる。

## 卍 由来等

古くは太田大明神とも言う。太田尾から移転(現地に標柱あり)された。志布志安楽の山宮神社と関係が深いと言う。崇神(すじん)天皇の時代、疫病が流行し多くの民が死んだ時、天皇の夢に大物主神が現れて、疫病は自分の仕業なので、自分の子孫である太田田根古の手によって祀られれば、それは収まると告げたとする。その通り行くと、疫病は鎮まったことから、太田田根古命は病気平癒の神として崇められている。宝物として古鏡が現存しているが、そのうち6面(鎌倉時代と南北朝時代)は市指定文化財となっており、大隅郷土館に展示してある。神社敷地内には、上勢井城跡から移設した三宝荒神や、志柄から移設した田の神様、大きなクスノキ等がある。

## 10 蹲踞神社

[所在地] 大隅町坂元473-18

[創建年] 不詳

大隅町  
MAP  
A-1御祭神 ひるこのかみ ひるこのみこと  
蛭子神 (蛭子命)

御利益 子育て、無病息災、学業成就、福德の神、漁業・商業・農業の神

## 卍 由来等

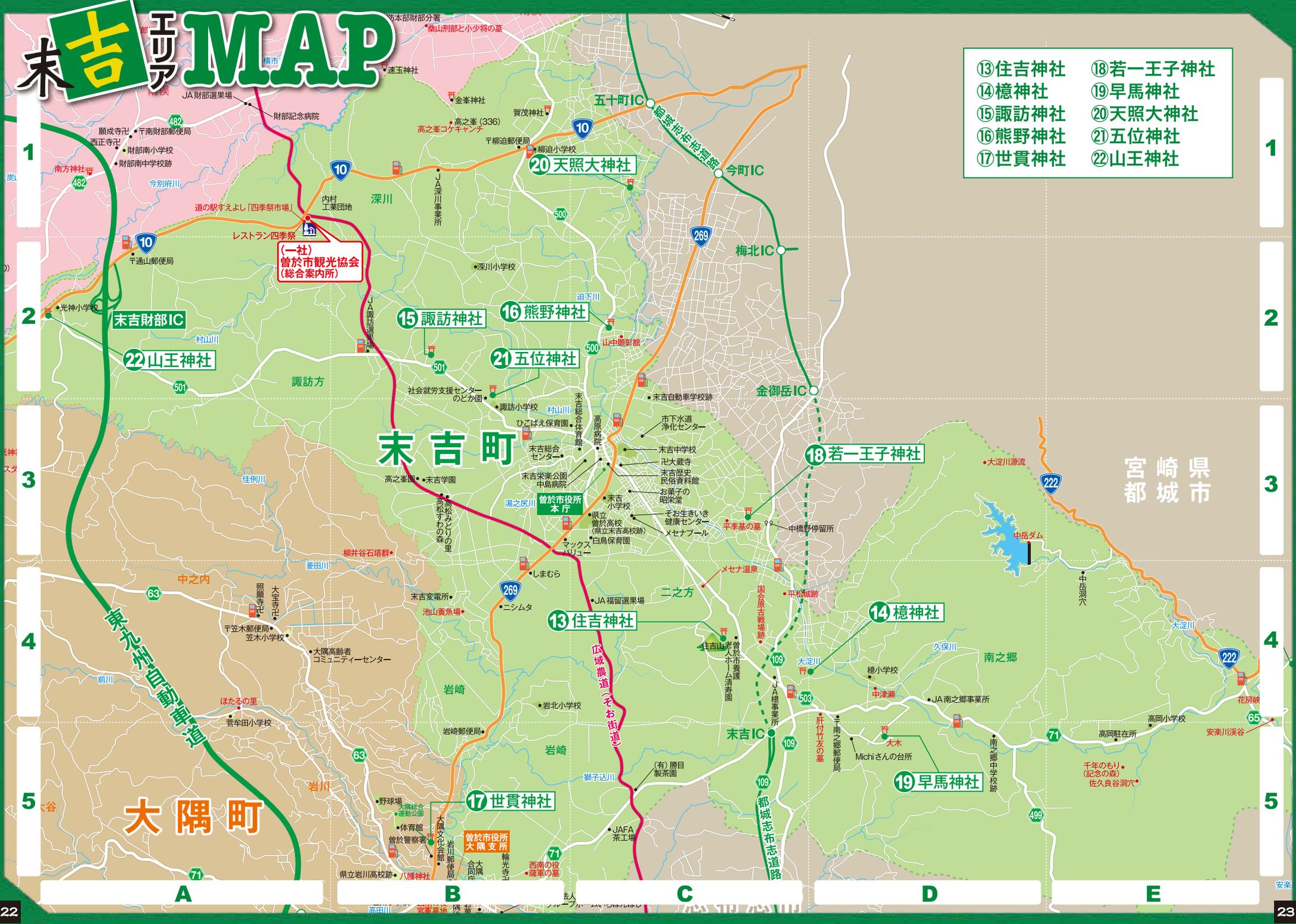
元々飛佐の宮田にあった神社で、天正19年(1591)に坂元愛甲坊へ移転し、その後宮岡に移転、昭和38年に現在地(大隅北地区公民館近く)へ移転している。祭神は蛭子命。寛文13年(1673)の妻板も残っている。

ヒルコ(水蛭子、蛭子神、蛭子命)は、日本神話に登場する神。『古事記』において国産(くにう)みの際、イザナギ(伊耶那岐命)とイザナミ(伊耶那美命)との間に生まれた最初の神。しかし、子作りの際に女神であるイザナミから声をかけた事が原因で不具の子に生まれたため、葦の舟に入れられオノゴロ島から流されてしまう。次に生まれたアハシマと共に、二神の子の数には入れないと記されている。後世、夷神(えびすがみ)と習合し、福德の神、漁業神、商業神、農業神となった。農村では山の神、田の神(春に山を降りて田の神となり、収穫後、山に帰って山の神となる)ともされている。なお、この神は頭脳明晰であり、また子供好きの神として知られる。



# 末吉MAP

- |       |         |
|-------|---------|
| ⑬住吉神社 | ⑱若一王子神社 |
| ⑭檉神社  | ⑲早馬神社   |
| ⑮諏訪神社 | ⑳天照大神社  |
| ⑯熊野神社 | ㉑五位神社   |
| ⑰世貫神社 | ㉒山王神社   |



## 末吉町

宮崎県  
都城市

## 大隅町

すみよし  
**13 住吉神社**

[所在地] 末吉町二之方 3995  
[創建年] 不詳 (古代という)

末吉町  
MAP  
C-4



**御祭神** そこつつのおのみこと なかつつのおのみこと うわつつのおのみこと  
底筒男命、中筒男命、表筒男命

**御利益** 除災招福、寿命長久、諸業繁昌、武運長久、交通安全、祈願成就、厄除け、五穀豊穰、海上守護、漁業守護

**お祭り** 流鏝馬 (11月23日)  
この他、武道大会、珍しい油竹登りもある。

### 卍由来等

住吉神社は、住吉山の中腹にある。藩庁時代は、島津直轄の神社に列していた。明治以降は郷社であったが、昭和7年に県社に昇格している。当社は島津家から大切に扱われ、慶長5年(1600)の島津当主や家臣達による奉納短冊116枚(市指定)や、寛保2年(1742)の神王面2面(市指定)等の宝物も残されている。現在の社殿は、嘉永2年(1849)のもので、福山平太夫(作事方下目附)と阿蘇鉄矢(大工)が中心となって改築にあっている。毎年、11月23日には流鏝馬が奉納され、多くの人で賑わう。なお、住吉山山頂には、姥石(うばいし)と呼ばれる謎の巨石が鎮座している。また、この山には巨木スギ、モミ等が多くあり、神域と呼ぶに相応しい場所である。

あおき  
**14 憶神社**

[所在地] 末吉町南之郷4772-2  
[創建年] 不詳 (古代という)

末吉町  
MAP  
C-4



**御祭神** いざなぎのみこと いざなみのみこと  
伊邪那岐命、伊邪那美命、他多数

**御利益** 安産子育て、延命長寿、厄払い、恋愛成就、祈願成就、交通安全、五穀豊穰

### 卍由来等

元々の祭神は、伊邪那岐命・伊邪那美命らであるが、明治40年代の神社合祀の時に、上津片加男(うわつかたがお)神社・中津真津男(なかつまつお)神社・下津片加男(しもつかたがお)神社・真木男(まきお)神社等の神社の神々が合祀されたため、現在祀られている祭神は相当数にのぼる。当社は、江戸時代の地誌『三国名勝図会』に絵が描かれており、それと比較しても当時とほぼ同じ形態を残している。また、ここから『橘嶽』や『高山』『短山(ひきやま)』『磐根子(いわねこ)』等を眺めた図もあり、古くから神話ゆかりの地として信仰されてきた神社であると言える。境内には『小戸池(おどのいけ)』もあり、妊婦がこの水を飲むと安産になると言う。拝殿右隣には、安産子育て地藏なる一風変わった地藏もあり興味深い。さらに、神話関連として、道が複雑であるが、天の岩戸神社もお薦めしたい。

すわ  
**15** 諏訪神社

[所在地] 末吉町諏訪方9814-1  
[創建年] 天文5年(1536)

末吉町  
MAP  
B-2



**御祭神** ことしるぬしのかみ たけみなかたのかみ おおひるめむちのかみ  
事代主神、建御名方神、大日靈貫神

**御利益** 予見の利く神、武運長久、交通安全、祈願成就、農業神、国家安泰

**お祭り** 春祭(3月28日)・例大祭(10月28日) 戦前までは神輿が出ていた  
秋祭(11月28日)

**卍** 由来等

諏訪神社は、島津家第9代忠国が、大隅の肝付氏や日向の伊東氏に対抗するため、永享4年(1432)、自ら出陣し末吉城を根拠地にした時に、鹿児島島の坂元村福ヶ迫から勧請したことに始まる。その後、戦乱が続く天文5年(1536)、第14代勝久の時に、新たに現在の諏訪山に移建遷座、諏訪大明神と称し、薩隅日(さつぐうにち)平定の守護神として崇敬された。文化14年(1817)、出火、鳥居を残し全焼した。しかし、永禄9年(1566)に北郷時久が奉納した太刀と、諏訪大明神御縁起という巻物が、当時の出火を免れ宝物として現在に残る。なお、明治6年の神社整理で長田神社と改称したが、昭和5年に再び諏訪神社となり現在に至る。

ここの参道は1回下り、その後上る参道でなかなか趣がある。また参道沿いにはスダジイ、スギ、クスノキ等の大木もある。

くまの  
**16** 熊野神社

[所在地] 末吉町深川5892  
[創建年] 不詳(南北朝時代か)

末吉町  
MAP  
C-2



**御祭神** いざなぎのかみ いざなみのかみ くにのとこたちのかみ  
伊邪那岐神、伊邪那美神、国常立神

**御利益** 厄除け、家内安全、縁結び、武運長久、商売繁盛、交通安全、所願成就、国家安泰

**お祭り** 奇習 鬼追い祭り(1月7日)  
この他、ライトアップされた鬼神太鼓の奉納、ひょっとこ踊りの奉納、豆まきもある。

**卍** 由来等

創建年是不明であるが、古記録によると、元弘3年(1333)4月に、五辻宮守良親王が下向した際、熊野三柱御霊鏡を奉遷したと言い、少なくともこの頃にはあったようである。この地域は、かつて深川院と呼ばれ、熊野神社の辺りが、その中心地であったと言う。南北朝の頃は、野辺氏が一帯を支配していた。野辺氏は初代久盛から日向国櫛間院を拠点とする一族だが、正平14年(1359)には野辺肥後守盛忠(久盛の長男)が、ここ深川で懐良親王(後醍醐天皇の子、征西大將軍。九州における南朝方の全盛期を築いた人物)を奉じて義兵を挙げる等、勢力を誇っていた。

神社境内には、深川氏(野辺久盛の二男美作守盛政がこの地名を名乗る)のものと伝わる大きな五輪塔が残る。なお、かつて熊野神社の近くに光明寺があり、ここで鬼追いが行われていた。元々、鬼追いは修正会に伴う仏教行事で、廃仏毀釈で一旦途絶えたが、その後、熊野神社が継承し、今に伝えられている。

この他、完全な形で大きな2体の仁王像が鎮座している。これは光明寺から継承したもので神社としては珍しい。また、元衆議院議員の故・山中貞則氏の足跡と功績を展示説明する山中貞則顕彰館が近くにあるので、是非見学して欲しい。

せぬぎ  
17 世貫神社

[所在地] 末吉町岩崎 826-6  
[創建年] 万寿元年 (1024)

末吉町  
MAP  
B-5



御祭神 わかみやのみこと ときわのみこと  
若宮命 (島津忠良)、常盤命 (忠良の母)

御利益 学問の神、家内安全、五穀豊穰、厄除け、交通安全

お祭り お田植祭 (3月26日)

卍 由来等

創建は万寿元年と言うが、由緒等は火事により焼失したらしく、元々の祭神等は不明である。昔、梶ヶ野から移ってきたとも言われる現在の祭神である島津忠良は日新斎とも言い、島津義久・義弘らの祖父であり、島津家中興の祖と称される名君である。忠良が3才の時、父義久公が殺害され、23才の美人である常盤夫人は忠良を賢明に育てることが供養になると一心に育てられた。ここでは、お田植え祭が今に伝えられており、市指定文化財となっている。お田植え祭は、稲作の耕作の過程を歌と仕草で表現するもので、神牛(模擬牛)も登場する豊年予祝(よしゆく)の行事である。

にやくいちおうじ  
18 若一王子神社

[所在地] 末吉町南之郷 1589  
[創建年] 万寿元年 (1024)

末吉町  
MAP  
C-3



御祭神 あまてらすおおかみ  
天照大神

御利益 除災招福、家内安全、必勝祈願、交通安全、  
五穀豊穰、国土安泰

卍 由来等

日本最大の荘園と言われる島津荘を開いた太宰大監平季基(たいらのすえもと)は、都城の梅北に神柱神社を創建してその祠官(しかん)を勤め、後婿の肝付兼貞に譲って、橋野に隠居し、当神社を建立して最初の祠官となった。また古くは、若一王子神社の母君を祭った大浦千寿院(都城市)まで御神幸があったと言う。また、境内のモミ、クスノキ等の大木の見学、及び神社近くに平季基の眠る墓があるので足を伸ばして欲しい。

はやま  
19 早馬神社

[所在地] 末吉町南之郷 4403

末吉町  
MAP  
D-5

[創建年] 元禄 15 年 (1702) とあるが、正保 4 年 (1647) 再興との記録もあり、もっと古くからあったと考えられる。



御祭神 てんちてんのう てんちてんのう みうま  
天智天皇、天智天皇の御馬

御利益 畜産振興、五穀豊穰

卍 由来等

現在の早馬神社は、平成4年に改築されたものだが、天智天皇の愛馬を祀ったと言う伝説が残る。一方、天智天皇の従者である長崎氏を祀ったものとも言われ、山口神社(かつて富田にあった天智天皇を祀る神社)とも関連がありそうである。神社の記録には、元禄15年(1702)創立とあり、藩政時代には牧場の中心的存在になっていた所とも言われている。

なお、神社境内には郷土の古い時代の森林の様子がうかがえる大木が残されている。樹種はタブ・シイ・カヤ・ユス(イスノキ)で、これだけまとまっている所は珍しく価値があると言える。シイの幹周りは約4.5mで、神木となっている。カヤは13本程あり、大きいものは幹周り2mを越える。タブは9本あり、幹周りは2.5mある。これら大樹のある主要部分とこれを保護するマント帯を形成する杉の造林地があり、調和のとれた杜を形成している。

あまてらすだい  
20 天照大神社

[所在地] 末吉町深川823-1

末吉町  
MAP  
C-1

[創建年] 不詳(南北朝時代か)



御祭神 あまてらすおおかみ  
天照大神

御利益 家内安全、社業反映、交通安全、五穀豊穰、国家安泰

卍 由来等

深川後迫にあり。天照大神を祀る。木像7体や神楽面が残り、往古は浜下りも行っていたと言う。また、境内には幹回り4mのタブノキもある。なお、天照大神社の近くの個人宅に『七人三郎(しっちんさぶろう)』と呼ばれる謎の石像がある。うち4体は綺麗に残っており、あたかも四天王像を彷彿とさせるが個人宅なので、見学はご遠慮下さい。

ごい  
23 五位神社

[所在地] 末吉町諏訪方1024-1  
[創建年] 不詳(室町時代か)

末吉町  
MAP  
B-2



**御祭神** □□□□□□  
源義経

**御利益** 武運長久、家内安全、五穀豊穰、無病息災、  
商売繁盛

**お祭り** 春祭(3/18)・秋祭(10/19)

卍 由来等

三国名勝図会には、天文24年(1555)に北郷忠親、天正3年(1575)に北郷時久が棟札を収めたとある。「五位」の由来は、祭神である源義経の官位「従五位下」によるものである。

源義経は平安時代末期の武士で、鎌倉幕府を開いた源頼朝の弟である。兄頼朝を助け、平家を壇ノ浦に滅ぼす功績を成したが、後に頼朝に疎まれ、奥州平泉にて討死した。戦では抜群の武功を挙げたことから、人々は義経を軍神として崇敬し、祀ったのであろう。なお、県内では義経を祭神として祀る神社は数少ないと思われる。

また、神社の周囲には、大きなイヌマキやカゴノキがあり見応えがある。

さんのう  
24 山王神社

[所在地] 末吉町諏訪方298  
[創建年] 天正13年(1585)3月

末吉町  
MAP  
A-2



**御祭神** □□□□□□  
大山咋神・大己貴命

**御利益** 家内安全、五穀豊穰、無病息災、商売繁盛

**お祭り** 春祭(4月第3日曜)・秋祭(11月中旬の日曜日)

卍 由来等

山王神社は、由緒書には、「天正十三年西三月新留某近江国坂本鎮座日吉神社ノ祭神(大山咋神・大己貴命)ヲ勧請当国ニ下リ、新留寺前ノ地ヲ相シ当社ヲ建立シ後、明治四十四年三月現在ノ荒神塚ノ靈地へ遷坐奉斎ス」とあり、天正13年(1585)、新留某が近江国(滋賀県)の日吉大社から勧請したものである。創建当初は少し離れた川沿い(付近には古石塔も残る)にあったが、明治44年に現地に移転した。

なお、山王神社敷地内には、寛文9年(1669)の庚申六地藏塔がある。廃仏毀釈の影響も受けず、当時のままの状態に残されており、非常に貴重な文化財である。

# 曾於市の観光は、曾於市観光特産 開発センターにお任せ下さい!

弥五郎どん祭り



悠久の森



花房峡憩いの森



ひよつこ踊り



流鏝馬



溝ノ口洞穴祭り



奇襲鬼追い



大川原峡



ゴッタン演奏と体験



自然散策、芸能鑑賞・体験、そば打ち体験、農林業体験、お祭り、歴史文化財など様々なメニューを準備していますので、お気軽にご相談下さい。

曾於市観光ボランティアガイド



**観光案内は私たちにお任せください!**

## ワンストップ窓口

曾於市の観光に関する企画・段取り・案内すべてをお任せ下さい。  
電話1本で相談・予約ができ、大変便利です。

(10人以上で観光を考えていらっしゃる旅行会社、老人会、婦人会等の担当者の皆様、まず電話でご相談下さい。)

### 曾於市観光特産開発センター

住所/鹿児島県 曾於市末吉町深川11050-1

電話/0986-28-0111 FAX/0986-79-1147 Email/info@sookai.net

URL/http://www.sookai.net/(観光欄をご覧ください。)

# 曾於市のお祭りを楽しもう!

| 開催時期         | イベント/場所                                  | 内容   |
|--------------|--|--|
| 1月7日の夜       | <b>奇習鬼追い</b><br>(熊野神社)                   | 無数の御幣を身に纏った鬼が観客をたたきながら駆け巡る。日本一の暴れ鬼として有名。境内でのひよつとこ踊り、鬼神太鼓の奉納も見逃せない。           |
| 2月末～3月中旬     | <b>吉井淳二記念展</b><br>(末吉総合体育館)              | 吉井淳二画伯を生んだ郷里「末吉町」で昭和56年から開催。招待作家や一般、高校生、ジュニア部門の作品を多数展示。                      |
| 3月下旬         | <b>桜祭り</b><br>(おおすみ弥五郎伝説の里)              | 広大な公園の1,200本の桜は圧巻。豚汁の振る舞いもあり。  |
| 4月8日に近い日曜日   | <b>溝ノ口岩穴祭り</b><br>(溝ノ口洞穴)                | 奴踊りや棒踊り、刀踊り(棒踊りと刀踊りは隔年奉納)が奉納される。パワースポットでの祭りは神秘的です。                           |
| 5月中旬         | <b>花房峡憩いの森 新緑ジョギング大会</b><br>(花房峡憩いの森)    | 新緑の中を走りながら自然の美しさを堪能して下さい。豪華な景品も魅力。   |
| 5月           | <b>ほたるの夕べ</b><br>(大隅町管牟田地区)              | ほたるの観賞のほか、各種芸能大会や郷土料理も楽しみ。   |
| 5月下旬の日曜日     | <b>どろんこ祭り</b><br>(たからべ温泉健康センター隣の田んぼ)     | 6人制ミニバレー、どろんこフラッグ、どろんこ尻相撲等です。バレーボール参加者には「たからべ温泉」入浴券を差し上げます。                  |
| 7月の第4金曜日     | <b>ふるさと大隅祭り</b><br>(おおすみ弥五郎伝説の里)         | 屋外ステージでは郷土芸能や盆踊りなど、さまざまなプログラムあり。間近で見る花火は最高。                                  |
| 7月下旬         | <b>たからべ夏祭り</b><br>(財部中央公民館駐車場)           | 特設ステージでは郷土芸能などのステージがあり、最後の花火打ち上げが盛り上がる。                                      |
| 8月の第1土曜日     | <b>末吉サマーフェスタ</b><br>(末吉栄楽公園)             | お昼の部では、市中パレードや神興パレード。間近で見る花火は臨場感抜群。多数の夜店も楽しみ。特設ステージでは多彩なプログラムあり。             |
| 8月の第1日曜日     | <b>たからべ清流まつり</b><br>(大川原峡キャンプ場)          | ヤマメの放流、つかみ捕り、ヤマメの炭火焼き、昔の遊び体験で、楽しい夏休みの思い出作りを。                                 |
| 10月15日に近い日曜日 | <b>豊年祭(ほぜまつり)</b><br>(投谷八幡宮)             | 面や鏡を付けた王子銚の御神体に色布を被せ、御旅所に浜殿(はまど)下りをする厳かな神事。ガネ・コンニャクふるまい。                     |
| 11月3日        | <b>弥五郎どん祭り</b><br>(八幡神社、岩川の町中)           | 900年以上の伝統を持つ「県下三大祭り」の一つ。祭りの見所は、身の丈4m85cmの弥五郎どんが、岩川八幡神社から町中を威風堂々と練り歩く「浜下り」です。 |
| 11月第2土・日     | <b>そお市民祭</b><br>(末吉栄楽公園)                 | 有名歌手のステージは大人気、ほか郷土芸能など多数。特産品販売も大盛況。  |
| 11月23日       | <b>流鎗馬</b><br>(住吉神社)                     | 参道を鳥居から神社へ向かって約300メートル馬を馳せ、勢いよく走る馬上から途中3カ所の的を射る姿は勇壮です。                       |
| 11月下旬        | <b>悠久の森 ウォーキング大会</b><br>(悠久の森、大川原峡キャンプ場) | ネイチャーゲームや森の写真展などがあり、最後は新米のおにぎりや特産品の販売、森のコンサートあり。                             |

## おみやげにいかが? 曾於市の特産品

曾於市は、自然と肥沃な大地に恵まれており、多くの農畜産物が生産されています。丹精込めて作りました農畜産物を是非ご賞味ください。



### 九州有数の 柚子生産地

#### ① 柚子

曾於市は九州一の栽培面積を誇るゆずの大生産地です。ゆずには体に良い栄養成分が多く含まれています。柚子を使った特産品も数多くあります。



#### ④ 野菜類

白菜・キャベツ・里芋・大根・トマト・きゅうり・ニガウリなど多種類の野菜が生産されています。土作りにこだわり栽培されている曾於市の野菜は多くの人に愛されています。



#### ② 肉類

全国でも畜産の町として有名な曾於市は、黒毛和牛・黒豚・薩摩黒鴨などが盛んに飼育されています。道の駅すえよし駐車場には、それらを象徴する日本最大の牛のモニュメントがあります。



#### ③ お茶

鹿児島県下有数のお茶生産地として気象条件を活かした特徴あるこだわりのお茶づくりが行われています。企業経営による大型茶工場や個人経営の茶工場で煎茶・深蒸し煎茶・粉茶の生産が盛んです。



#### ⑤ 弥五郎スイカ

伝説の巨人「弥五郎どん」の名前にちなんだ、やごろうスイカは大玉で身が締まっており、糖度も11%以上と、とても甘いのが特徴です。

お問い合わせ先 曾於市観光特産開発センター ☎0986-28-0111